

平成30年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年8月14日

上場会社名 株式会社やまみ 上場取引所 東
 コード番号 2820 URL http://www.yamami.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山名 清
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)林 辰男 (TEL)0848(86)3788
 定時株主総会開催予定日 平成30年9月26日 配当支払開始予定日 平成30年9月27日
 有価証券報告書提出予定日 平成30年9月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期の業績（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|--------|--------|-----|------|------|------|------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年6月期 | 10,499 | 7.2 | 983 | 4.3 | 996 | 5.9 | 646 | 2.6 |
| 29年6月期 | 9,793 | 3.3 | 942 | △9.0 | 940 | △9.3 | 630 | △10.4 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|--------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 30年6月期 | 101.47 | 101.14 | 14.9 | 11.0 | 9.4 |
| 29年6月期 | 98.86 | — | 16.3 | 10.7 | 9.6 |

(参考) 持分法投資損益 30年6月期 一百万円 29年6月期 一百万円

(注) 平成29年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年6月期 | 9,462 | 4,631 | 48.8 | 723.92 |
| 29年6月期 | 8,716 | 4,102 | 47.0 | 642.61 |

(参考) 自己資本 30年6月期 4,615百万円 29年6月期 4,097百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|--------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 30年6月期 | 1,494 | △1,495 | △265 | 551 |
| 29年6月期 | 1,292 | △1,225 | △391 | 818 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 | 純資産 配当率 |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|------|------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 29年6月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 | 127 | 20.2 | 3.3 |
| 30年6月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 | 127 | 19.7 | 2.9 |
| 31年6月期(予想) | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 | | 18.4 | |

3. 平成31年6月期の業績予想（平成30年7月1日～平成31年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|------|------|------|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 5,550 | 5.1 | 463 | △7.0 | 452 | △8.6 | 319 | 0.2 | 50.03 |
| 通期 | 11,300 | 7.6 | 988 | 0.5 | 980 | △1.6 | 692 | 7.0 | 108.53 |

(注) なお、第1四半期に平成30年7月豪雨の影響がありますが、第2四半期(累計)・通期ともに増収を見込み、通期の営業利益及び当期純利益についても増益を見込んでおります。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|--------|------------|--------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年6月期 | 6,376,100株 | 29年6月期 | 6,376,100株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年6月期 | 77株 | 29年6月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数 | 30年6月期 | 6,376,080株 | 29年6月期 | 6,376,100株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 2 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 3 |
| 3. 財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 貸借対照表 | 4 |
| (2) 損益計算書 | 6 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 7 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (持分法損益等) | 10 |
| (1株当たり情報) | 10 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の持ち直しが見られるなど、緩やかながらも改善傾向が続き、消費者マインドにも回復の兆しが見られるものの、節約志向の高まりから個人消費は伸び悩む状況が続いております。また、海外情勢は米国やEU等の政治動向にリスク懸念があり、先行きは不透明な状況で推移しております。

当社が属します食品製造業におきましては、個人消費が横ばい圏で推移していることから販売は安定しており、安定的な推移となりました。

このような状況のもと、当社は一般消費向け各種豆腐、厚揚げ等を主力に、九州から中国・四国、関西、東海の各地方において販売に注力いたしました。また、食品加工業、外食産業向けに各種豆腐等の販売を推進いたしました。

設備面では、本社工場で絹豆腐専用ラインが平成29年7月に、関西工場の油揚げ専用ラインの新設が平成30年3月に完了し、受注のキャパシティの確保を行うとともに、時間当たり製造量が増加したことにより、従来よりも製造体制の効率化を図りました。

以上の結果、当事業年度の業績は、売上高10,499百万円と前年同期と比べ705百万円(7.2%)の増収となりました。

利益につきましては、運送コストの上昇により荷造運賃の増加、従業員の待遇の向上に取り組んでいること等に伴い労務費が増加したこと等による影響はあるものの、営業利益は983百万円と前年同期と比べ40百万円(4.3%)の増益、経常利益は996百万円と前年同期と比べ55百万円(5.9%)の増益、当期純利益は646百万円と前年同期と比べ16百万円(2.6%)の増益となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当事業年度末における総資産は、前事業年度末と比較して746百万円増加し、9,462百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比較して72百万円増加し、2,271百万円となりました。これは主に当事業年度末が金融機関の休日だったこと等により、売掛金が298百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末と比較して674百万円増加し、7,191百万円となりました。これは絹豆腐専用ラインの新設及び油揚げライン新設等により増加したことによるものです。

(負債の部)

当事業年度末における総負債は、前事業年度末と比較して216百万円増加し、4,830百万円となりました。

流動負債は、前事業年度と比較して390百万円増加し、2,487百万円となりました。これは未払金が211百万円、未払法人税等が73百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比較して173百万円減少し、2,343百万円となりました。これは主に長期借入金が155百万円減少したこと等によるものです。

(純資産の部)

当事業年度末における純資産は、前事業年度末と比較して529百万円増加し、4,631百万円となりました。これは主に当期純利益646百万円により利益剰余金が増加したこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の期末残高は、前事業年度末と比較して267百万円減少し、551百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1,494百万円(前事業年度は1,292百万円の収入)となりました。

これは、支出要因として売上債権の増加が298百万円等があった一方で、収入要因として税引前当期純利益970百万円、減価償却費972百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、1,495百万円(前事業年度は1,225百万円の支出)となりました。

これは、本社工場にて絹豆腐専用ラインの新設及び関西工場にて油揚げ専用ラインの新設等により有形固定資産の取得による支出1,481百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、265百万円(前事業年度は391百万円の支出)となりました。

これは、長期借入れによる収入600百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出727百万円、配当金の支払額127百万円等があったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 平成26年6月期 | 平成27年6月期 | 平成28年6月期 | 平成29年6月期 | 平成30年6月期 |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率(%) | 21.2 | 25.8 | 41.1 | 47.0 | 48.8 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | — | — | 108.4 | 140.0 | 151.9 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年) | 3.1 | 3.3 | 1.9 | 2.3 | 1.9 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍) | 35.1 | 36.4 | 60.7 | 46.6 | 53.5 |

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注 1) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注 2) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しに関しては、雇用所得環境が緩やかながらも改善傾向が続いており、個人消費が横ばい圏で推移していることから、伝統食材である豆腐の販売は安定して推移していくものと見込まれます。

このような状況下におきまして当社は、設備投資による製造原価の低減を継続的に図り、一般消費向け各種豆腐厚揚げ等を安定的に供給していくとともに、食品加工業、外食産業向けに各種豆腐等の販売を推進していくこと等により、安定的な企業成長を目指す所存であります。

次期の業績につきましては、第1四半期に平成30年7月豪雨の影響があるものの、売上高11,300百万円(前事業年度比7.6%増)、営業利益988百万円(同0.5%増)、経常利益980百万円(同1.6%減)、当期純利益692百万円(同7.0%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年6月30日) | 当事業年度 (平成30年6月30日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 914,962 | 653,926 |
| 売掛金 | 1,099,403 | 1,398,160 |
| 商品及び製品 | 30,563 | 36,137 |
| 原材料及び貯蔵品 | 134,724 | 163,663 |
| 前払費用 | 4,277 | 5,286 |
| 繰延税金資産 | 10,283 | 14,113 |
| その他 | 4,958 | 86 |
| 流動資産合計 | 2,199,173 | 2,271,373 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 2,934,378 | 3,101,222 |
| 減価償却累計額 | △1,056,165 | △1,180,197 |
| 建物(純額) | 1,878,213 | 1,921,024 |
| 構築物 | 569,520 | 651,513 |
| 減価償却累計額 | △305,673 | △338,062 |
| 構築物(純額) | 263,847 | 313,450 |
| 機械及び装置 | 7,498,583 | 8,568,760 |
| 減価償却累計額 | △4,456,431 | △5,076,869 |
| 機械及び装置(純額) | 3,042,151 | 3,491,891 |
| 車両運搬具 | 25,615 | 25,276 |
| 減価償却累計額 | △22,811 | △22,202 |
| 車両運搬具(純額) | 2,803 | 3,073 |
| 工具、器具及び備品 | 60,595 | 73,265 |
| 減価償却累計額 | △52,521 | △57,600 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 8,074 | 15,664 |
| 土地 | 848,448 | 848,448 |
| リース資産 | 67,199 | 67,199 |
| 減価償却累計額 | △42,619 | △53,308 |
| リース資産(純額) | 24,579 | 13,891 |
| 建設仮勘定 | 384,709 | 515,767 |
| 有形固定資産合計 | 6,452,828 | 7,123,213 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 5,321 | 6,088 |
| その他 | 619 | 619 |
| 無形固定資産合計 | 5,941 | 6,708 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,068 | 9,442 |
| 出資金 | 60 | 60 |
| 長期前払費用 | 5,220 | 4,785 |
| その他 | 42,884 | 46,840 |
| 投資その他の資産合計 | 58,234 | 61,128 |
| 固定資産合計 | 6,517,004 | 7,191,050 |
| 資産合計 | 8,716,178 | 9,462,423 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年6月30日) | 当事業年度 (平成30年6月30日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 614,183 | 667,225 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 611,756 | 639,998 |
| リース債務 | 10,732 | 10,040 |
| 未払金 | 542,208 | 753,233 |
| 未払費用 | 118,364 | 151,119 |
| 未払法人税等 | 122,512 | 195,986 |
| 未払消費税等 | 39,783 | 19,931 |
| 預り金 | 28,739 | 40,333 |
| 賞与引当金 | 8,160 | 8,738 |
| その他 | 530 | 582 |
| 流動負債合計 | 2,096,971 | 2,487,189 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,359,915 | 2,204,210 |
| リース債務 | 14,253 | 4,213 |
| 預り保証金 | 4,000 | 4,000 |
| 繰延税金負債 | 138,652 | 131,060 |
| 固定負債合計 | 2,516,820 | 2,343,484 |
| 負債合計 | 4,613,792 | 4,830,673 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 696,086 | 696,086 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 669,086 | 669,086 |
| 資本剰余金合計 | 669,086 | 669,086 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 7,569 | 7,569 |
| その他利益剰余金 | | |
| 圧縮積立金 | 315,164 | 302,656 |
| 繰越利益剰余金 | 2,407,363 | 2,939,310 |
| 利益剰余金合計 | 2,730,097 | 3,249,536 |
| 自己株式 | — | △205 |
| 株主資本合計 | 4,095,270 | 4,614,503 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,088 | 1,198 |
| 評価・換算差額等合計 | 2,088 | 1,198 |
| 新株予約権 | 5,026 | 16,048 |
| 純資産合計 | 4,102,385 | 4,631,750 |
| 負債純資産合計 | 8,716,178 | 9,462,423 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日) | 当事業年度 (自 平成29年7月1日 至 平成30年6月30日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 9,793,341 | 10,499,065 |
| 売上原価 | | |
| 製品期首たな卸高 | 27,789 | 30,563 |
| 当期製品製造原価 | 7,025,954 | 7,625,242 |
| 合計 | 7,053,744 | 7,655,805 |
| 他勘定振替高 | 872 | — |
| 製品期末たな卸高 | 30,563 | 36,137 |
| 製品売上原価 | 7,022,308 | 7,619,668 |
| 売上総利益 | 2,771,033 | 2,879,397 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造運賃 | 726,347 | 781,664 |
| 広告宣伝費 | 25,126 | 24,029 |
| 販売手数料 | 668,526 | 689,216 |
| 給料及び賞与 | 227,794 | 216,688 |
| 賞与引当金繰入額 | 1,140 | 1,090 |
| 減価償却費 | 6,526 | 6,436 |
| その他 | 172,712 | 176,849 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,828,172 | 1,895,975 |
| 営業利益 | 942,860 | 983,421 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 25 | 18 |
| 受取配当金 | 65 | 86 |
| 助成金収入 | 18,848 | 24,246 |
| 受取補償金 | — | 10,322 |
| 自動販売機収入 | 3,504 | 3,912 |
| スクラップ売却収入 | 1,925 | 1,880 |
| その他 | 1,585 | 1,180 |
| 営業外収益合計 | 25,955 | 41,647 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 27,499 | 27,912 |
| その他 | 836 | 870 |
| 営業外費用合計 | 28,336 | 28,782 |
| 経常利益 | 940,479 | 996,287 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 40 | — |
| 特別利益合計 | 40 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 3 | — |
| 固定資産除却損 | 4,000 | 26,147 |
| 特別損失合計 | 4,004 | 26,147 |
| 税引前当期純利益 | 936,515 | 970,140 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 300,893 | 334,210 |
| 法人税等調整額 | 5,259 | △11,031 |
| 法人税等合計 | 306,153 | 323,179 |
| 当期純利益 | 630,362 | 646,960 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|-------|----------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益準備金 | 利益剰余金 | | 利益剰余金合計 |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | | その他利益剰余金 | | |
| | | | | 圧縮積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 696,086 | 669,086 | 669,086 | 7,569 | 329,286 | 1,922,281 | 2,259,137 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △159,402 | △159,402 |
| 当期純利益 | | | | | | 630,362 | 630,362 |
| 圧縮積立金の取崩 | | | | | △14,121 | 14,121 | — |
| 自己株式の取得 | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | △14,121 | 485,081 | 470,960 |
| 当期末残高 | 696,086 | 669,086 | 669,086 | 7,569 | 315,164 | 2,407,363 | 2,730,097 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-------------------------|------|-----------|------------------|----------------|-------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| 当期首残高 | — | 3,624,310 | 1,113 | 1,113 | — | 3,625,423 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △159,402 | | | | △159,402 |
| 当期純利益 | | 630,362 | | | | 630,362 |
| 圧縮積立金の取崩 | | — | | | | — |
| 自己株式の取得 | | — | | | | — |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | 974 | 974 | 5,026 | 6,001 |
| 当期変動額合計 | — | 470,960 | 974 | 974 | 5,026 | 476,961 |
| 当期末残高 | — | 4,095,270 | 2,088 | 2,088 | 5,026 | 4,102,385 |

当事業年度(自 平成29年7月1日 至 平成30年6月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|-------|----------|-----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益準備金 | 利益剰余金 | | 利益剰余金合計 |
| | | 資本準備金 | 資本剰余金合計 | | その他利益剰余金 | | |
| | | | | 圧縮積立金 | 繰越利益剰余金 | | |
| 当期首残高 | 696,086 | 669,086 | 669,086 | 7,569 | 315,164 | 2,407,363 | 2,730,097 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △127,522 | △127,522 |
| 当期純利益 | | | | | | 646,960 | 646,960 |
| 圧縮積立金の取崩 | | | | | △12,508 | 12,508 | — |
| 自己株式の取得 | | | | | | | |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | — | — | △12,508 | 531,947 | 519,438 |
| 当期末残高 | 696,086 | 669,086 | 669,086 | 7,569 | 302,656 | 2,939,310 | 3,249,536 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|-------------------------|------|-----------|------------------|----------------|--------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| 当期首残高 | — | 4,095,270 | 2,088 | 2,088 | 5,026 | 4,102,385 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △127,522 | | | | △127,522 |
| 当期純利益 | | 646,960 | | | | 646,960 |
| 圧縮積立金の取崩 | | — | | | | — |
| 自己株式の取得 | △205 | △205 | | | | △205 |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | △890 | △890 | 11,021 | 10,131 |
| 当期変動額合計 | △205 | 519,233 | △890 | △890 | 11,021 | 529,364 |
| 当期末残高 | △205 | 4,614,503 | 1,198 | 1,198 | 16,048 | 4,631,750 |

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日) | 当事業年度 (自 平成29年7月1日 至 平成30年6月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前当期純利益 | 936,515 | 970,140 |
| 減価償却費 | 890,942 | 972,157 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 160 | 578 |
| 受取利息及び受取配当金 | △90 | △105 |
| 支払利息 | 27,499 | 27,912 |
| 固定資産除却損 | 4,000 | 26,147 |
| 固定資産売却益 | △40 | — |
| 固定資産売却損 | 3 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 880 | △298,757 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 12,112 | △34,512 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △54,826 | 53,041 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 23,892 | 26,556 |
| その他 | 13,193 | 38,372 |
| 小計 | 1,854,243 | 1,781,530 |
| 利息及び配当金の受取額 | 90 | 105 |
| 利息の支払額 | △27,717 | △28,129 |
| 法人税等の支払額 | △533,950 | △259,109 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,292,665 | 1,494,397 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △6,020 | △6,014 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,210,812 | △1,481,608 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 44 | — |
| 有形固定資産の除却による支出 | △388 | △680 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △3,686 | △2,700 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △637 | △654 |
| その他 | △3,897 | △3,922 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,225,397 | △1,495,580 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 300,000 | 600,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △521,674 | △727,463 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △205 |
| リース債務の返済による支出 | △11,213 | △10,731 |
| 配当金の支払額 | △158,872 | △127,469 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △391,759 | △265,869 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △324,491 | △267,051 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,143,391 | 818,900 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 818,900 | 551,848 |

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、豆腐等製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前事業年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日) | 当事業年度 (自 平成29年7月1日 至 平成30年6月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 642.61円 | 723.92円 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 98.86円 | 101.47円 |
| 潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額 | — | 101.14円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、前事業年度は希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前事業年度 (自 平成28年7月1日 至 平成29年6月30日) | 当事業年度 (自 平成29年7月1日 至 平成30年6月30日) |
|---|--|--|
| (1) 1株当たり当期純利益金額 | 98.86円 | 101.47円 |
| (算定上の基礎) | | |
| 当期純利益金額(千円) | 630,362 | 646,960 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る当期純利益(千円) | 630,362 | 646,960 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 6,376,100 | 6,376,080 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | — | 101.14 |
| (算定上の基礎) | | |
| 当期純利益調整額(千円) | — | — |
| 普通株式増加数(株) | — | 20,830 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在 株式の概要 | 第1回新株予約権の個数 628個 第1回新株予約権となる株式数 62,800株 | — |

(重要な後発事象)

(重要な設備投資)

当社は平成30年7月20日開催の取締役会において、次の通り固定資産の取得（新工場の建設）を決議し、平成30年7月24日付で土地売買契約を締結いたしました。

1 設備投資の目的

当社のこれまでの生産拠点につきましては、本社工場（広島県三原市）に続き、関西工場（滋賀県甲賀市）を設置し、中国・四国地方から関西地域へと事業領域を着実に拡大してきておりますが、今後の更なる成長と事業拡大の一環として、国内最大規模の市場規模を有する関東地域へ本格的に進出する体制を確立するとともに、幅広いお客様に安心・安全・おいしい製品を提供するための新しい生産拠点が必要と判断し、工場用地を取得して最新の機械設備を導入した新工場建設を行うものです。

2 設備投資の内容

| | |
|------|--------------------|
| 所在地 | 静岡県駿東郡小山町 |
| 土地面積 | 50,496.76㎡ |
| 投資総額 | 約43億円（土地、建物、機械設備等） |
| 生産品目 | 豆腐、厚揚げ |
| 資金計画 | 自己資金及び借入金等により充当 |

3 設備導入の時期

| | |
|--------|--------------|
| 工事着工日 | 平成30年10月（予定） |
| 操業開始時期 | 平成32年6月期（予定） |